

令和3年 業種別労働災害発生状況

(令和3年4月末現在)

室蘭労働基準監督署

区分 業種別	令和3年			令和2年同期			対前年		業種割合	令和2年確定値		
	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		52 [28]	52 [28]	1	38 [22]	39 [22]	13	33.3	100.0	4	225	229
製造業		8 [3]	8 [3]		7 [3]	7 [3]	1	14.3	15.4		25	25
食料品					2 [2]	2 [2]	-2	-100.0			9	9
木材木製品								-				
窯業・土石		1	1				1	-	1.9		1	1
鉄鋼業		2	2		2 [1]	2 [1]			3.8		2	2
金属・機械		1	1		1	1			1.9		8	8
輸送用機械					1	1	-1	-100.0			1	1
その他の製造業		4 [3]	4 [3]		1	1	3	300.0	7.7		4	4
鉱業・土石採取業								-			1	1
建設業		5 [2]	5 [2]	1	5 [1]	6 [1]	-1	-16.7	9.6	2	34	36
土木工事業		1 [1]	1 [1]		2	2	-1	-50.0	1.9		5	5
建築工事業		2 [1]	2 [1]	1	3 [1]	4 [1]	-2	-50.0	3.8	1	18	19
木造建築業		1	1				1	-	1.9		7	7
その他の建設業		1	1				1	-	1.9	1	4	5
道路貨物運送業		6 [3]	6 [3]				6	-	11.5		17	17
その他の運輸業					2 [2]	2 [2]	-2	-100.0		2	3	5
陸上貨物取扱業								-				
港湾運送業								-			1	1
林業								-			2	2
漁業								-			1	1
卸売・小売業		10 [8]	10 [8]		8 [6]	8 [6]	2	25.0	19.2		36	36
社会福祉施設		3 [2]	3 [2]		1	1	2	200.0	5.8		39	39
旅館業		6 [2]	6 [2]		1 [1]	1 [1]	5	500.0	11.5		10	10
清掃業		2 [2]	2 [2]		3 [2]	3 [2]	-1	-33.3	3.8		18	18
上記以外の専業		12 [6]	12 [6]		11 [7]	11 [7]	1	9.1	23.1		38	38

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したもので、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数です。

本統計は、速報値であり後日修正されることがあります。

本統計は、北海道労働局ホームページからダウンロードできます。

- 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、手洗い等の徹底、密閉空間の改善、近距離での会話、換気等の抑制等感染防止対策を徹底しましょう。
- 建設工事着工期労働災害防止運動(令和3年4月1日から令和3年6月30日まで)を実施しています。安全衛生管理の徹底等、重点的に取り組んでください。
建設安全週間:5月25日から5月31日まで
- 令和3年5月から9月まで「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」期間中(7月は重点取組期間)です。熱中症防止対策を重点的に進めましょう。
- 「働き方」が変わります!!
平成31年4月1日から働き方改革関連法が順次施行されています。
令和2年4月1日から、中小企業(自動車運転の業務、建設事業、医師、新技術・新商品等の研究開発業務を除く)も時間外労働の上限規制が適用されました。

令和3年 死亡労働災害事例

番号	発生日	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
						該当なし

令和2年 死亡労働災害事例

番号	発生日	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1	1	9時台	建設業	墜落、 転落	その他の装 置、設備	被災者は、同僚等の2名と集塵機上の清掃及び足場の設置・解体の作業を行っていた。次の作業を行うため、集塵機の梁材上で待機していた時、誤って集塵機の開口部に墜落したものの。
2	8	5時台	その他の運輸業	交通事故	トラック	被災者は同僚1名と仕事先から事業場に戻るため、同僚が運転するトラックに同乗していたところ、対向車線を走行していた大型トレーラーと正面衝突したものの。
3	8	5時台	その他の運輸業	交通事故	トラック	被災者は同僚1名と仕事先から事業場に戻るため、同僚を助手席に乗せ、トラックで走行中、対向車線を走行していた大型トレーラーと正面衝突したものの。
4	12	6時台	建設業	交通事故	乗用車等	労働者3名で現場に向かう途中、車両がスリップし制御できず、左側土手に衝突したものである。この衝突により、後部座席に乗車していた労働者が車外に投げ出され死亡した。